

# ポップコーンのなる木?・・・ナンキンハゼ

家の近くを流れる川の堤防道を歩いていたら、枝一杯に『ポップコーン』を実らせた木を見つけた。  
『ポップコーンって木になるんだ!』とはさすがに思わなかったが、やや遠目に見ると、まさに『ポップコーン』である。近付いて見ると『綿』のようにも見える。  
『綿のなる木だ!』と一瞬思ったが、近付いて触ってみると、予想外に固く、もちろん綿ではなかった。

この『白い実』の正体は『ナンキンハゼ』である。



ナンキンハゼは中国原産の落葉高木で、庭木・街路樹・公園樹として利用されている。白い種皮には蠟が含まれているため、石鹸・蠟燭などの原料としても用いられる。

ウルシ科のハゼノキの代わりに蠟を取る材料として使われるようになった中国原産の木からこの名が付いたが、ウルシ科のハゼノキとは別種である。

ムクドリなどの小鳥が種子を食べるが、種皮の蠟分を消化し、その種子は消化されずに糞と共に排出される。

この白っぽい種皮に蠟分が含まれている



種皮(白い)部分は柔らかく爪でも削ることが出来る  
茶色の部分は硬い

火を点けてみた。始めは中々点かなかったが、一度火が点いたら激しく燃えたまるで蠟燭のような灯りである



実を蒸して压榨して、油を絞るみたいにして蠟を抽出する

こちらは本家本元のハゼの実



小鳥が好んで食べるが、人には有毒なので要注意

